日本アンプティサッカー協会
公式ハンドブック

Japan Amputee Football Association
Official Hand Book

CONTENTS

- アンプティサッカーとは … 1
- 日本アンプティサッカー協会の歩み … 2
- 日本アンプティサッカー協会について … 3
- 日本アンプティサッカー協会の主要事業 … 4
  - ・事業推進に係る戦略方針
- 強化育成事業 … 5
  - ・強化委員会 JDP（JAFA DEVELOPMENT PROJECT）2019
  - ・競技活動年間スケジュール
  - ・主催・主管大会
- 周知広報事業 … 10
- 普及啓発事業 … 11
- 事務局 … 12
  - ・総務
  - ・事業
  - ・広報
  - ・国際渉外
- 西日本支部 … 13
- JAFAパートナー制度 … 14
- JAFA加盟チーム … 15
- 競技記録 … 16

● アンプティサッカーとは

アンプティサッカー（Amputee Soccer）は切断だけでなく四肢機能不全を伴う身体障がい者のために設計されたサッカーの1つです。フィールドプレイヤーは下肢切断者もしくは下肢に障がいがある者、ゴールキーパーは、上肢切断者もしくは上肢に障がいがある者となります。競技の最大の特徴として、フィールドプレイヤーは、医療用補助器具である２本の「ロフストランド・クラッチ（松葉杖）」を使用し、クラッチを軸に身体を支えて片脚でボールを蹴ります。通常の公式戦は７人制で、少年用のフィールドサイズ（40m×60m）とゴールを用いて前後半２５分ハーフからなる50分間とし、選手交代に制限はなく試合が行われます。以下、主なルールとして、クラッチを使用してボール操作をすることはできません。また故意にボールに触れた場合は「ハンド」のファールが適用されます。「オフサイド」のルールはありません。タッチラインからのプレーの再開は「スローイン」ではなく「キックイン」となります。ゴールキーパーは「ペナルティエリア」から出ることはできません。またゴールキックの際にノーバウンドでハーフウェーラインを超えた際にはファールが適用されます。

フィールドプレーヤーは下肢切断者

ゴールキーパーは上肢切断者

義足を外してクラッチで体を支えながら脚一本でプレーします

クラッチで故意にボールをコントロールできません

クラッチによる威嚇・暴力行為は許されない

プレイヤー

フィールドプレイヤーは下肢切断者もしくは下肢に障がいがある者、ゴールキーパーは、上肢切断者もしくは上肢に障がいがある者となります。

特徴

フィールドプレイヤーは、医療用補助器具である２本の「ロフストランド・クラッチ」を使用し、クラッチを軸に身体を支えて片脚でボールを蹴ります。

試合形式

通常の公式戦は７人制で、少年用のフィールドサイズ（40m×60m）とゴールを用いて前後半２５分ハーフからなる50分間、選手交代に制限はなく試合が行われます。

主なルールその①

クラッチを使用してボール操作をすることはできません。また故意にボールに触れた場合は「ハンド」のファールが適用されます。

主なルールその②

「オフサイド」のルールはありません。タッチラインからのプレーの再開は「スローイン」ではなく「キックイン」となります。

主なルールその③

ゴールキーパーは「ペナルティエリア」から出ることはできません。またゴールキックの際にノーバウンドでハーフウェーラインを超えた際にはファールが適用されます。

アンプティサッカーは、ドン・ベネット氏が、バスケットのボールを不意に足でボール受けたことに着想を得て、1980年に米国のシアトルで始められました。当初、アンプティサッカーは下肢に障がいを持つ米国ナショナルチームのスキーヤーが夏に適切な持久力とフィットネスレベルを維持するトレーニングとして、また傷痍軍人のリハビリテーションの一環として採用されたことから一気に普及が進みました。

1987年までは、両サイドに11人のプレーヤーがいる標準的なピッチで競技が行われていました。1998年には、はじめてのワールドカップ（Amputee Football World Cup tournament）が英国で開催されました。同年にはモスクワで国際アンプティサッカー連盟（International Amputee Football Federation：IAFF）が創設されたのち、IAFFは世界アンプティサッカー連盟（World Amputee Football Federation：WAFF）とアフリカアンプティサッカー連盟（Federation of Africa Amputee Football）となりました。今日、アンプティサッカーを統括するWAFF（World Amputee Football Federation）へ加盟をしている国は世界で４９カ国となり、世界各地でアンプティサッカーが行われています。

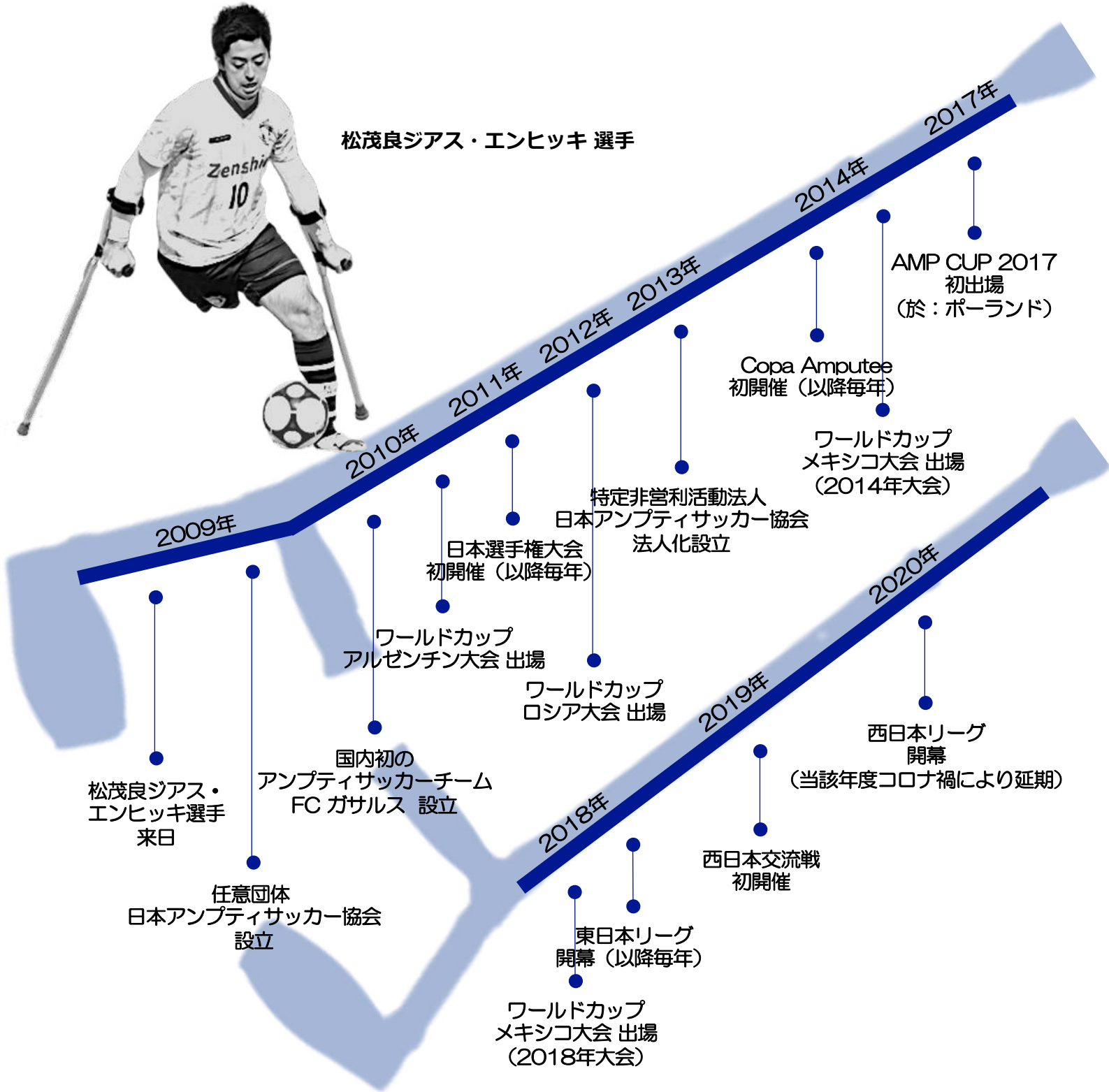
ない機能を嘆くのではなく、
今ある機能を「最大限」に発揮するスポーツです！

CHECK！

● 日本アンプティサッカー協会の歩み

元アンプティサッカーブラジル代表の日系3世である松茂良ジアス・エンヒッキ選手が来日したことをきっかけに、2009年12月に「任意団体 日本アンプティサッカー協会」が設立されました。2010年からは国内で普及活動が開始され、同年、東京に日本初のアンプティサッカークラブ となるFCガサルスが設立されました。これを契機に全国でアンプティサッカーチーム設立の機運が高まり、神奈川・九州・関西・広島と続きました。2013年4月、「特定非営利活動法人日本アンプティサッカー協会」との名称にて法人設立し、2013年10月よりセルジオ越後氏を最高顧問として迎えました。

法人設立後は「公益社団法人東京都障害者スポーツ協会」、「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」に加盟登録を行い、競技普及活動が国内各地で活性化しました。その結果、今日では北海道・千葉・静岡・埼玉にてチームが発足し、現在は9チームが登録されています。2014年5月、公益財団法人日本サッカー協会は「JFAグラスルーツ宣言」を発表し、年齢・性別・障害の有無に関係なく、だれもがいつでも、安心・安全にサッカーを楽しめる環境の整備に取り組むことを宣言し、障がい者サッカーとの連携に着手しました。2016年4月、日本サッカー協会の関連団体として「一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟（Japan Inclusive Football Federation：JIFF）」が設立されると同時に加盟し、さらなる共生社会の推進に向けて他の障がい者サッカー団体と共に歩み始めました。



● 日本アンプティサッカー協会について

名称	特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会
英語表記	Japan Amputee Football Association (JAFA)
法人設立	2013年4月1日（任意団体設立2009年12月19日）
理事長	武田 信平
最高顧問	セルジオ 越後
名誉顧問	三浦 由子
名誉理事	湧永 寛仁
登録団体	世界アンプティサッカー連盟（WAFF） 一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟（JIFF）＊ ＊公益財団法人日本サッカー協会　関連団体 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（JPSA）
所在地	東京都港区芝浦1-2-1 シーバンス N館 兼松株式会社19階（本部） 大阪府大阪市天王寺区悲田院町3-9（西日本支部）
URL	http://www.j-afa.jp

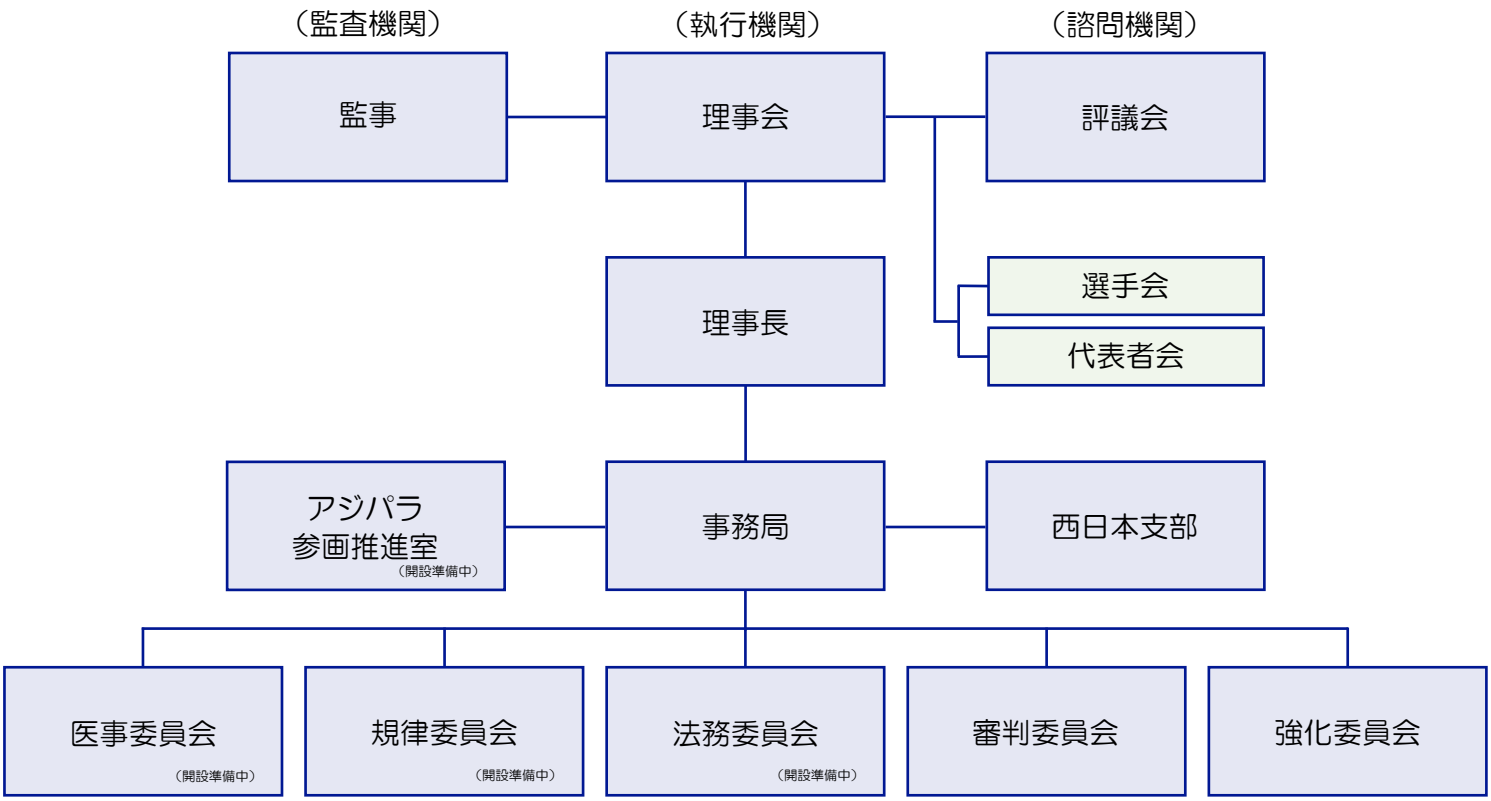
法人章A　法人章B　法人章C

JAFA'S MISSION

私たちアンプティサッカーは広くサッカーを通じて、障がいの有無を超え充実した共生社会の実現を目指します

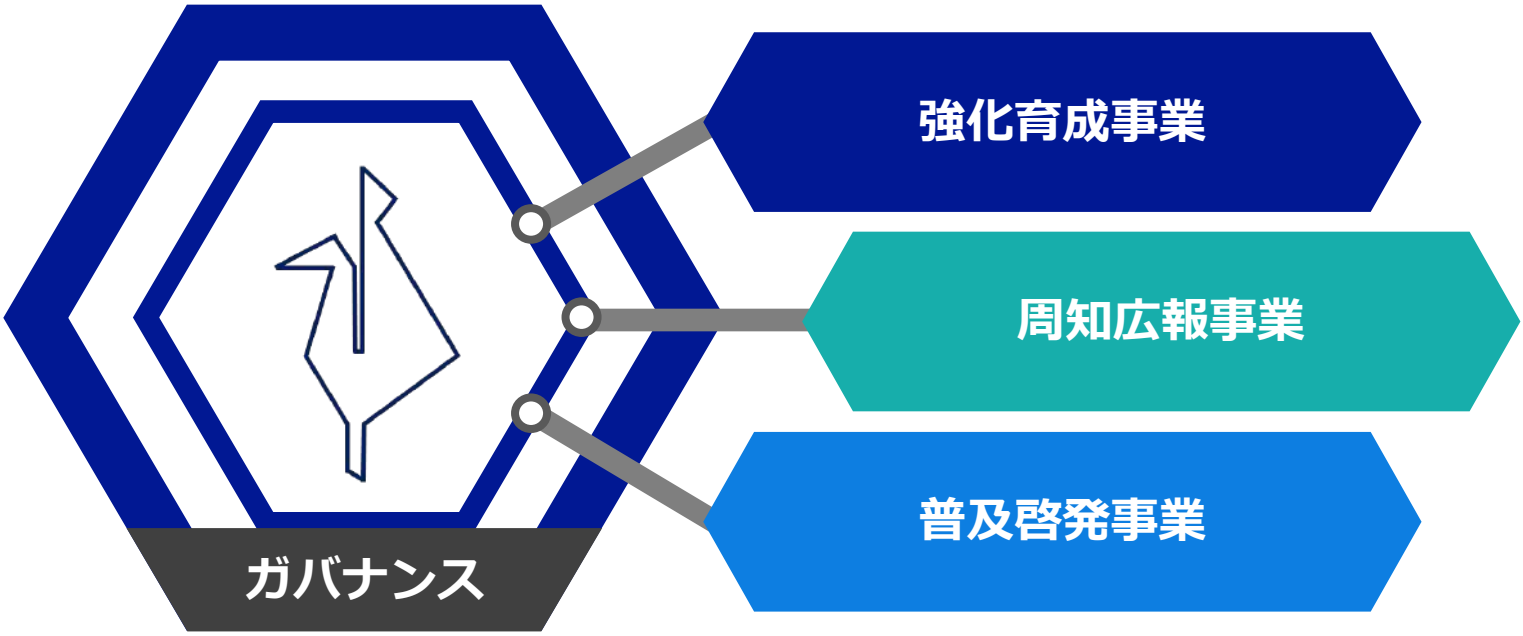
《普及》
アンプティサッカーの普及に努め、健常者への理解推進、切断障がい者への啓蒙を行い、社会に根付いたものとなることで、誰でも、いつでも、どこでもサッカーを楽しめる環境を創りあげる
《強化》
アンプティサッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える
《組織》
健全な組織の構築に努め、社会的責任を果たしていくことで、アンプティサッカーの価値を向上する

組織体制図



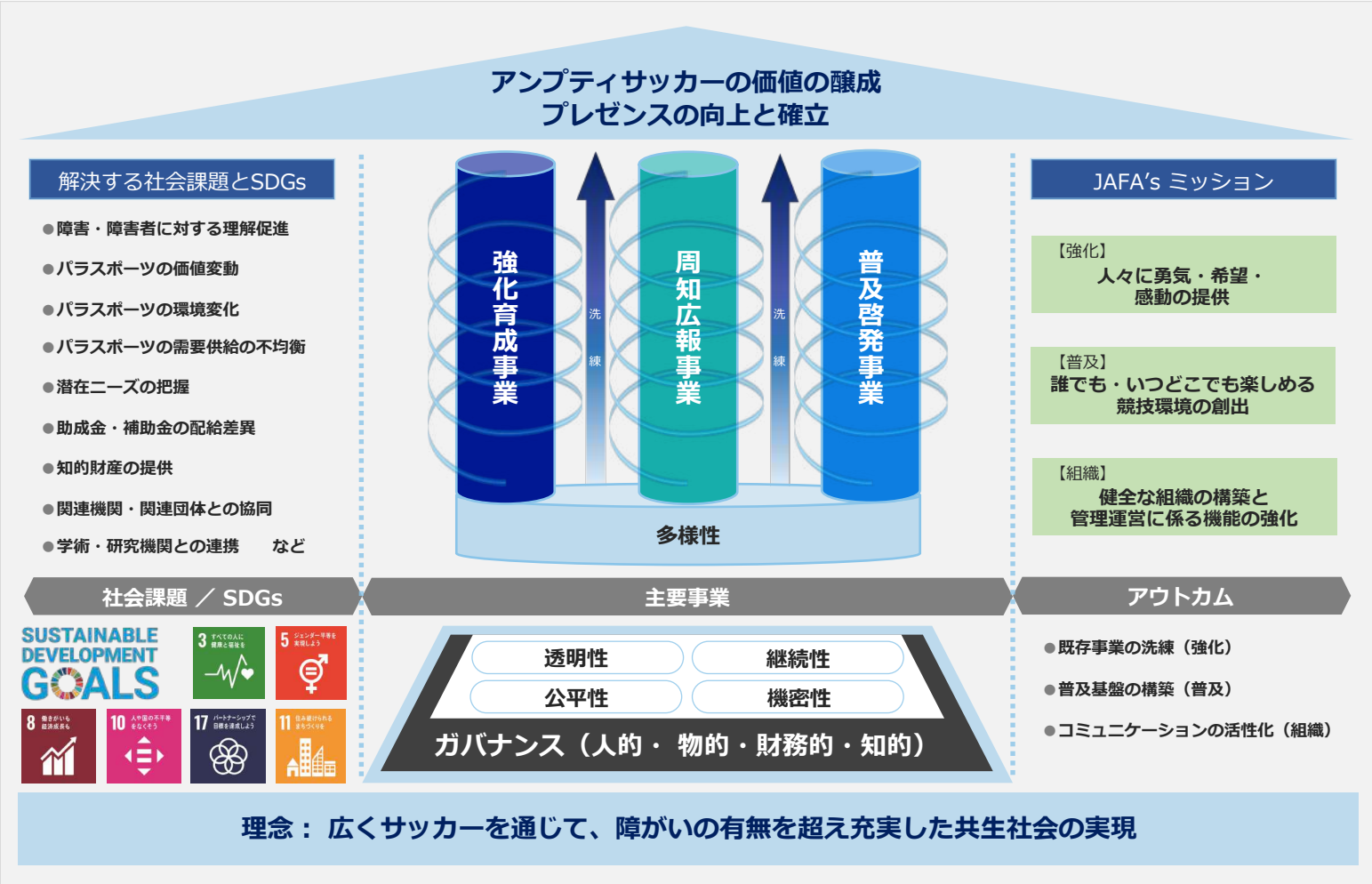
● 日本アンプティサッカー協会の主要事業

日本アンプティサッカー協会は、主要事業として「強化育成事業」、「周知広報事業」、「普及啓発事業」の3つの事業を展開しています。また組織基盤の強化を図るうえでガバナンスの整備を積極的に行っています。



■ 事業推進に係る方針

当協会は、アンプティサッカーがより身近なものになることによって、誰もがこのスポーツの楽しさを享受できる社会を築いていくことを目指しています。これを具現化するために、次の２つの方針に基づいて事業を推進していきます。①健全な団体として誰もが安心して参加することができる体制を構築する。②今日の社会的な課題や問題へ向き合い、人々に勇気・希望・感動などを提供する。



● 強化育成事業

かつて地球の裏側で、選手たちが心に誓った「いつか世界で勝ちたい」という決意から、ワールドカップ2018メキシコ大会では、史上初となる世界トップ10入りを果たし、選手たちの心の誓いは「いつかは世界一」にという決意に変わりつつあります。このような思いに応えるべく、多くの方々のご尽力により「日本選手権」と「コパアンプティ」の二大大会を併設するとともに、「リーグ文化の醸成」に向けて歩みを進めています。また、強化委員会が主体となった各種事業の展開により、すべてのプレイヤーにアンプティサッカーを通じて、自身の卓越した可能性に気づき、自尊心を育む機会の場を構築してまいります。

■ 強化委員会 JDP（JAFA DEVELOPMENT PROJECT）2019

アンプティサッカーを発展させていくにあたり、普及、育成、養成、強化に関する具体的な方針を持つことが大切です。強化委員会は『JDP（JAFA DEVELOPMENT PROJECT）2019』を策定し、段階的な目標を立て、各種事業を遂行してまいります。

特定強化事業

✓ 競技目標設定、有効的かつ効果的なカテゴリー強化策の策定と運用

ワールドカップをはじめとする国際競技大会における競技成績の向上

トップカテゴリー

女子選手強化事業

✓ 選手発掘、育成、強化

国際競技大会出場と競技継続

マスターカテゴリー

ユースカテゴリー

レディスカテゴリー

四国地域　北陸地域　東北地域

競技普及事業

✓ 東日本・西日本リーグの推進

✓ チーム創設・新設支援の運用

関係人口の増加
競技環境の充実

選手育成事業

✓ カテゴリーキャンプの整備

✓ 選手育成、巡回指導の実施

カテゴリー別の競技力の向上
競技意欲の充実

指導者養成事業

✓ 指導者養成研修制度の整備

✓ 指導者養成、巡回指導の実施

指導者養成研修修了登録者数の増加により指導力の向上

情報分析事業

✓ 科学的サポート支援、国内外の情報収集、情報分析、競技データの蓄積、マテリアルの開発

体系化の基盤確立；コンテンツ整備（競技記録、啓発ハンドブック、トレーニングガイドライン、指導教本等）

当該事業における実務内容を形式知化し体系的な競技推進基盤を整備しています。

『アンプティサッカー部門新設・チーム創設支援制度』を策定し、地域ごとに新たなチーム体制が確立していくための支援を行っています。

『JAFA テクニカルレポート 2020』を発行し特定の大会等の記録を整理し競技データを可視化させ今後の目標設定にむけた提言をしています。

『アンプティサッカートレーニング・ガイドブック』を発行し、プレイヤーをはじめ指導現場に関わる方への指導教本として活用しています。

■　競技活動年間スケジュール

今日の日本アンプティサッカー界においては通年にわたって公式戦に参加できる体制が整備されています。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によりスポーツ界全体で競技活動が中断される中、日本アンプティサッカー協会は、他の障がい者サッカー団体に先駆けて「JAFAアンプティサッカー競技活動再開ガイドライン」を策定し、競技を再開しコロナ禍を契機とした新たな推進策が構築されました。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	レオピン杯コパアンプティ		東日本リーグ（前期）				日本選手権大会		東日本リーグ（後期）		
			西日本リーグ（前期）						西日本リーグ（後期）		

■　主催・主管大会

日本選手権大会

2011年12月3日に日本で初めてとなる公式戦として「第１回 日本アンプティサッカー選手権大会」が川崎市で開催され総当たり方式で大会が行われました。以降毎年9月～12月の時期に開催されており、2014年からはチーム数の増加により、東日本ブロック・西日本ブロックそれぞれ予選方式を併用しての開催となりましたが、2015年の第5回大会以降は、予選方式から一括開催に戻され予選リーグ＋決勝トーナメントの開催となっています。

2011年
第1回

2012年
第2回

2013年
第3回

2014年
第4回

2015年
第5回

2016年
第6回

2017年
第7回

2018年
第8回

2019年
第9回

レオピン杯Copa Amputee

「レオピン杯 Copa Amputee」は、アンプティサッカーワールドカップ2012ロシア大会での日本代表の惨敗を契機に2014年に新設された大会です。日本アンプティサッカー界においては、日本選手権大会と同様に二大大会として位置付けられており、年度のはじめにチームの力量を試すことができる絶好の機会となっています。大会方式としては予選リーグ＋決勝トーナメントによる開催となっています。

Copa Amputee
©公式大会ロゴマーク

2014年
第1回

2015年
第2回

2016年
第3回

2017年
第4回

2018年
第5回

2019年
第6回

CHALLENGE FOR THE FUTURE

©公式リーグロゴマーク

3 すべての人に健康と福祉を　5 ジェンダー平等を実現しよう　8 働きがいも経済成長も　10 人や国の不平等をなくそう　17 パートナーシップで目標を達成しよう　11 住み続けられるまちづくりを

SDGs × アンプティサッカーリーグ

日本アンプティサッカー協会はSDGsの理解を深め、アンプティサッカーを通じて各種取り組みを推進し、SDGsの達成にむけて貢献してまいります。

- 5 ジェンダー平等を実現しよう：すべてのプレイヤーに競技活動の機会を確保
- 10 人や国の不平等をなくそう：障がいを理由とする差別・偏見の解消を推進
- 11 住み続けられるまちづくりを：共生社会を牽引する各種ネットワークの確立

- 3 すべての人に健康と福祉を：プレイヤーの体力・趣向に応じ競技の場を提供
- 8 働きがいも経済成長も：競技を通じ自身の可能性・自尊心を向上
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう：事業機会や価値観を創出し有機的な連携を強化

アンプティサッカーリーグ（東日本・西日本）

アンプティサッカーリーグは2017年の構想に始まり2018年夏のプレ大会を経て、現在では「すべてのアンプティサッカーファミリーで共に築き上げるリーグ」という大会スローガンをもとに、年間を通じてリーグ戦が行われており競技の基軸となっています。多くのプレイヤーへ公式戦出場機会の確保・育成、明確な目標を持ったチーム強化の場のほか、女性やビギナープレイヤーなどへの継続的なスポーツシーンへの誘導にも波及しています。競技普及におけるすそ野を広げていくため、下記に紹介する取り組みも本リーグの特徴として挙げられます。

関係人口の醸成

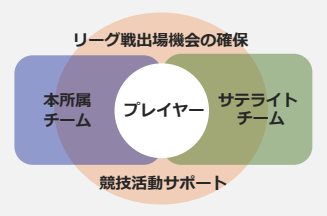
アンプティサッカーリーグでは、「ノン・アンプティプレイヤー（健常者）」の試合出場が認められてる

- リバース・インテグレーションの視点を包摂
- ゲートウェイパラスポーツとしての機会を構築
- ユニバーサルスポーツとしても競技を推進

サテライトチーム制度の運用

アクセスの良いチームをサテライトチームとした競技活動サポートとリーグ戦の出場機会を確保している

- 競技活動を充実
- 公式戦出場機会の確保
- チーム間の有機的な連携



ホストチーム制度の運用

リーグの毎節で「ホストチーム」を設定し、リーグ運営の一部をホストチームに委託している

- エントリーチームの主体性を醸成
- マネジメントスタッフの獲得の機会を提供
- チームスポンサーの獲得機会の提供

育成と強化の推進

多くのプレイヤーに公式戦出場機会を確保し、明確な目標を持った育成や強化の場として提供している

- 継続的な公式戦出場機会の提供・メンタルヘルスケア
- 競技スキル・パフォーマンスの向上
- 新たな戦術・プレーモデルの構築

交流機会の促進

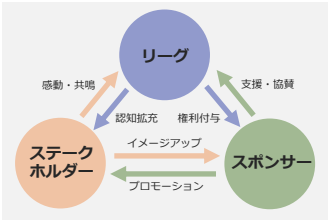
エキシビジョンマッチや体験会による所属の枠を超えた交流機会を促進している

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 各種ネットワークとインフラストラクチャーの創出

スポンサー・アクティベーションの推進

スポンサーシップの各種権利を有効活用することでアンプティサッカーに係るローンチを促進している

- アンプティサッカーリーグを通じた競技の認知拡充
- 個人・企業スポンサーのアクティベーションを推進
- アンプティサッカーファミリーのコミュニテイを拡大



萱島比呂 選手

JAPAN'S MISSION

アンプティサッカーワールドカップ

2010年
初出場
15位
参加16カ国

2012年
2回目
12位
参加12カ国

2014年
3回目
11位
参加24カ国

2018年
4回目
10位
参加22カ国

アンプティサッカーワールドカップ2010アルゼンチン大会への初出場以降、開催されたすべてのワールドカップに出場し、ワールドカップ2018メキシコ大会では世界ランクトップ１０入りを果たしました。今後は、さらなる国際競技成績の向上、アジア加盟国との連携強化、未だ国際競技大会の場を経験していない東・東南・南アジア新興国へのバックアップが求められています。アンプティサッカーを通じた国際交流による社会発展・経済発展に及ぼす効果・可能性について国際的な関心も高まっています。時代を担う国際的な役割を遂行し多くの人々に夢や希望、感動を与えていきます。

国際競技成績の向上
（優位性の醸成）

ハイパフォーマンスに係るグッドプラクティス（競技推進システム、体制基盤、知的財産シーズ）の提供により国際社会におけるプレゼンスの向上・確立

アジア加盟国との連携強化
（アジアパラ競技大会への参入）

本邦にアジアのIF拠点設置し、スポーツ国際展開に関係する機関のリソースを活用し情報収集・共有のプラットフォームを構築しアジアの意思決定を統括

東・東南・南アジア新興国への
バックアップ（アジア大陸予選の整備）

ソフト（競技活動）・ハード（組織基盤）の支援とともに、スポーツ関連産業の参画を促し、インバウンド及びアウトバウンドの両面で有機的なネットワークを構築

● 周知広報事業

アンプティサッカー全般にわたる情報管理をはじめ、事業活動についてオフィシャルウェブサイト、ソーシャルメディアなどを通じて広く情報を発信しています。本協会とパートナーシップを締結しているパートナー企業とは広報活動についても連携を強化しています。

2019年9月にオフィシャルウェブサイトをアクセシビリティに配慮しレイアウトを刷新しました。アンプティサッカーの公式情報発信源として活用しています。

日本選手権大会はケーブルテレビで放送されており、選手のメディア出演も調整しています。

JAFAパートナーやオフィシャルサプライヤーの広報誌やYouTubeチャンネルにてアンプティサッカーの情報発信がされています。

アンプティサッカーの事業活動や試合速報・動画をTwitter、Facebook、YouTubeで配信しています。

すべての選手・スタッフはアマチュア/ボランティアであり国際競技大会の出場にかかる費用負担が重い課題となっています。2018年W杯メキシコ大会では朝日新聞社のクラウドファンディングサイト「A-port」を通じ「残された手足とクラッチに夢を託して～アンプティサッカー日本代表が世界に挑む」として228名の支援者により3,404,563円の支援金を受けました。

スポンサーとして支援・協力をしていただいているJAFAパートナーやオフィシャルサプライヤーなどの企業や個人に対して事業成果をはじめとした活動報告をしています。

● 普及啓発事業

日本アンプティサッカー協会は、障がい者も健常者も垣根なく混ざり合う共生社会を実現していくべく、ダイバーシティー＆インクルージョン（多様性と包摂）の考え方のもと、アンプティサッカーをはじめとした啓発活動を推進し、障害の有無に関わらず誰もがスポーツの価値を享受していける学び・活動の場を構築してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS　**本事業では持続可能な社会変革目標［SDGs］を包摂しています**

体験（一般）

アンプティサッカーを実際に体験していただき、競技の特徴や普及情報を伝えています。

体験（教育機関）

アンプティサッカーを実際に体験していただき、競技の楽しさや面白さを伝えています。

講演（一般）

アンプティサッカー選手・スタッフが競技の環境や障がい理解について講演しています。

講演（教育機関）

アンプティサッカー選手・スタッフが競技への取組や目標・夢について講演しています。

● 事務局

■ 総務

本協会の体制維持・発展のため基盤となる各種手続きの継続・更新など多岐にわたる業務を遂行し、安定的かつ持続的な組織運営を実現することを目的としています。

第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
・所轄官庁他届出 法務省東京法務局港出張所 国税庁芝税務署 港区役所 東京都NPO法人係 登録団体登録継続（更新）手続き ・パートナー契約の締結・更新管理 ・総会（定期総会年１回） ・第１回 理事会	・第２回 理事会	・第３回 理事会	・第４回 理事会 ・事業報告書の作成・発送 ・決算報告作成（税理士との連携）

〔 通年 〕

- 登録（所属）団体との窓口（JFA・JIFF・JPSAを含む）
- 会員及び加盟チーム、パートナー、スポンサーへの各種案内、連絡の発信
- ガバナンス：基盤整備（医事委員会、法務委員会、規律委員会ほか）
- 臨時理事会適時
- 連絡会（理事会に代わる会議）
- 資金の健全運用
- 通帳、現金、出金、支払、請求、納付の管理執行
- 補助金、助成金の申請（各委員会と連携）
- すべての事業記録や資料の収集蓄積管理
- 郵便物取次ぎや各種書類発送
- 臨時総会
- その他どこにも属さない要件

■ 事業

主要事業である「強化育成事業」、「周知広報事業」、「普及啓発事業」を遂行することを目的としています。これらの事業を推進するためには資金を必要としますが、その資金を確保することも事業部門の役割となります。

第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
・チーム登録費や年会費の徴収管理 ・競技規則通達（審判委員会と連携） ・コパアンプティ企画運営（西日本支部と連携） ・リーグ事務局 東日本リーグ（前期）企画運営* 西日本リーグ（前期）企画運営*	・日本選手権大会 企画運営*	・リーグ事務局 東日本リーグ（後期）企画運営* 西日本リーグ（後期）企画運営*	・第４回 理事会 ・事業報告書の作成・発送

〔 通年 〕

- パートナー（スポンサー）獲得セールス活動
- 協会登録諸規程の整備
- 備品管理、クラッチ貸出
- 体験会・イベントのサポート
- ボランティア募集・対応
- ウェア・マテリアル発注管理
- セールスシートの作成
- パートナー制度の改定

＊企画運営：会場確保、時期設定、関係方面打合せ、支援依頼、事前準備、会場オペレーション

■ 広報

本協会の主管・主催大会の広報をはじめ、アンプティサッカーの魅力についてオフィシャルウェブサイトやソーシャルメディアそしてJAFAパートナーと連携し社会へ情報発信していくことを目的としています。

第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
・コパアンプティ 広報	・リーグ（前期） 広報	・日本選手権 広報	・リーグ（後期）広報

〔 通年 〕

- オフィシャルウェブサイト管理運営
- ソーシャルメディア管理運営
- 各種メディア対応
- 情報収集・掲出情報の作成
- データ取りまとめ保全
- JAFAパートナーとの連携

■ 国際渉外

国際的なアンプティサッカーの発展に貢献することを目指し次の事業を推進していきます。①WAFFより加盟国へ提示される議案に対し日本としての確固たる意見を表明する。②関係国・関係機関と連携し国際競技大会を日本にて開催する。③他国で行われる国際大会に参加する。④アジアのリーダーとしてアジア・アンプティサッカー連盟の創設を目指し活動する。

第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期
・通達文書 各種翻訳		・WAFF総会への出席・各議案に対する議決権行使	

〔 通年 〕

- WAFFとの折衝
- 世界大会参加に関わるエントリー業務全般
- WAFF加盟国主催大会のチーム派遣の検討・折衝ならびにエントリー業務全般
- WAFF非加盟国主催大会へのチーム派遣の検討ならびに折衝業務全般
- 情報収集・情報交換
- 情報提供活動

● 西日本支部

活動基盤整備

●西日本アクションプランの策定・推進
●地域別競技普及プランの策定・推進
●独自資金調達の強化

●広報手段の充実
●西日本支部 活動拠点の充実
●備品管理

お問い合わせ先
西日本支部
Mail：nishinihon@j-afa.jp

人材発掘 活動機会提供

●イベント，体験会，講演会を通じて選手（障がい者，健常者），スタッフの発掘
●チームへのマッチング
●支部員としての参与

大会企画・渉外 運営

●コパアンプティ開催に係る各種調整
●西日本交流戦に係る各種調整
●西日本リーグに係る各種調整

イベント情報集約 後方支援

●情報管理
●加盟チームによる独自大会，タイアップイベントへの支援（競技用具貸与，広報協力，人材派遣調整など）

地域連携 啓発活動

●障がい者サッカー団体との連携
●障がい者スポーツ協会との連携
●都道府県サッカー協会との連携

● JAFAパートナー制度

日本アンプティサッカー協会は広くサッカー（アンプティサッカー）を通じて、障がいの有無を超え充実した共生社会の実現を目指し活動をしています。本制度は、本協会の理念・活動にご共感いただいた企業と共に、切断障がい者に対し自尊心を育む機会の構築や卓越した可能性を追求する場の提供とともに、アンプティサッカーそのものにおける価値の醸成・啓発活動の推進により「全ての人々がスポーツの力で輝く活力ある社会と絆の強い社会を作る」ためのものです。下記にはJAFAパートナーのメリットについてもご紹介いたします。

目標： 全ての人々がスポーツの力で輝く活力ある社会と絆の強い社会を作る

▲

〔運用〕

- 管理費
- 事業費
- その他（雑役務費・印刷製本費等）

予算配分調整

▲

JAFAパートナー制度： 【パートナーシップ　支援収入】

▲

理念： 広くサッカーを通じて、障がいの有無を超え充実した共生社会の実現

支援企業呼称権

下記の呼称を貴社の広報活動に使用することが出来ます。
（例）「〇〇は日本アンプティサッカー協会の活動を応援しています」

広報活動への社名提出

オフィシャルウェブサイト、ソーシャルメディア、アニュアルレポートなどの広報活動に貴社名を掲出します。

貴社広報活動用データの提供

ロゴマークおよび指定写真を貴社の広報活動に使用することができます。コンポジットロゴの使用も可能です。

大会での社名掲出・広告掲載

貴社名・貴社ロゴをバナーやインタビューボードに掲出します。大会プログラムへ社名掲載及び広告スペースを提供いたします。

体験会・講演会の実施

障がい者スポーツの認知・普及拡大を図るための体験会を実施・運営いたします。

ボランティアのご参画権利

本協会の事業やイベントに貴社員のボランティアのご参加が可能です。

事業・プロジェクト協賛権利

本協会の事業やイベントに協賛（冠を含む）をすることが可能です。

セルジオ越後講演会 開催権利

本協会最高顧問セルジオ越後氏（サッカー解説者）の講演会を契約期間内に1回/年間、開催することが可能です。

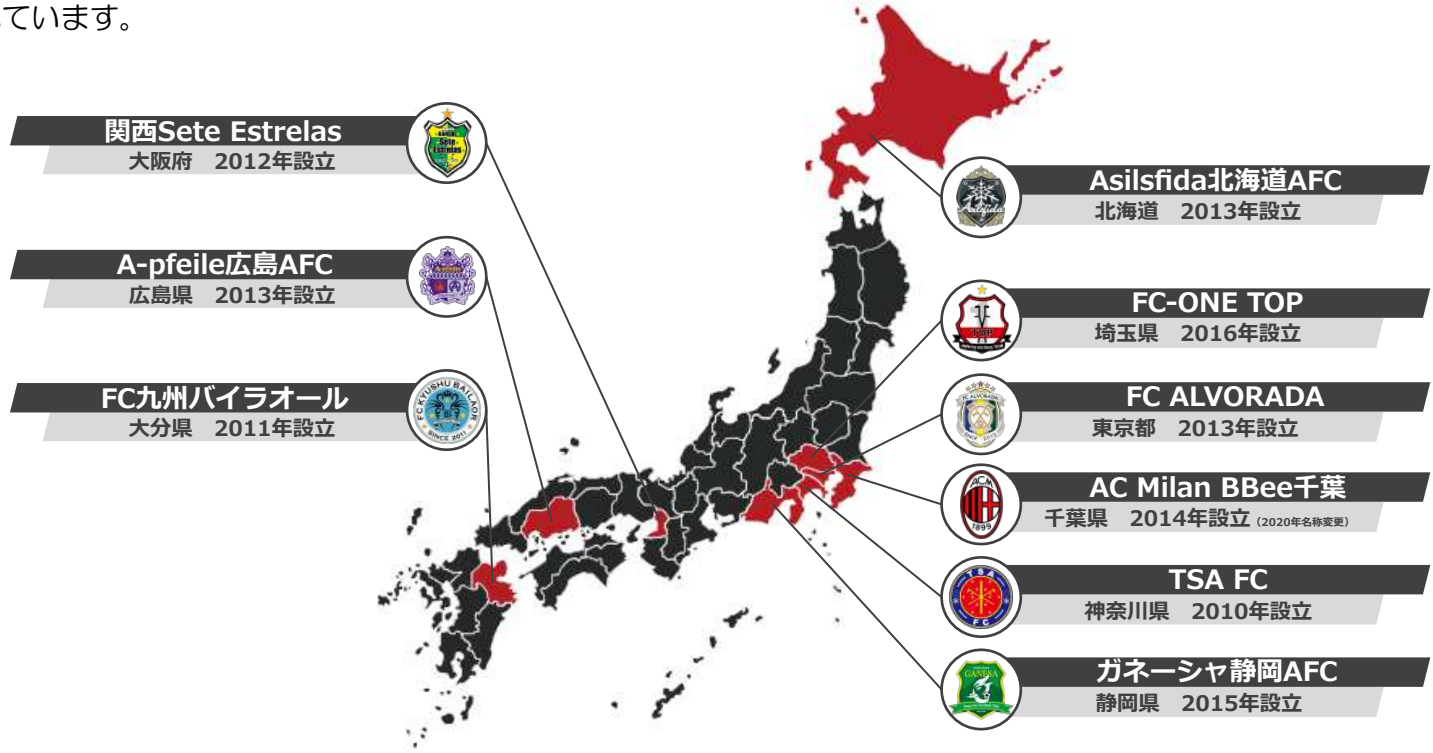
JAFAパートナー制度およびご支援について

JAFAパートナー制度や法人寄付、その他支援については以下よりお問い合わせください。

お問い合わせ先
日本アンプティサッカー協会　事務局
Mail：support@j-afa.jp

● JAFA加盟チーム

2020年11月現在、日本アンプティサッカー協会に北海道から九州にかけて9チームが加盟しており、あらゆる地域から選手を抱えているチームが多くなっています。選手は本所属チームの活動に主に参加していますが、アクセスの良いチームをサテライトチームとし、競技活動の充実、公式戦出場機会の確保など有機的なチーム間の連携が推進されています。



TSA FC

e-mail: info@activepros.jp
Facebook:https://www.facebook.com/TSA-FC-1024142467596232/
Twitter:https://twitter.com/tsa_fc_amputee

FC九州バイラオール

e-mail: mako@j-afa.jp
Facebook:https://www.facebook.com/fcBailaor/
Twitter:https://twitter.com/fckyushubailaor

関西Sete Estrelas

e-mail: massan2yuki@yahoo.co.jp
HP: http://www.sete-estrelas.com
Facebook:https://www.facebook.com/kansaiSeteEstrelas
Twitter:https://twitter.com/seteestrelas_7

A-pfeile広島AFC

e-mail: afc.apfeile@gmail.com
HP: https://a-pfeile.jimdofree.com
Facebook:https://www.facebook.com/apfeile.hafc

FC ALVORADA

e-mail: s.hanzawa@j-afa.jp
HP: http://fc-alvorada.net/
Facebook:https://www.facebook.com/FC-Alvorada-675533772547114/

旧名称：FC ALVORADA 川崎（2015年 迄）

Asilsfida北海道AFC

e-mail: asilsfida@yahoo.co.jp
HP: https://asilsfida-hokkaido.wixsite.com/amputee-fc
Facebook:
https://www.facebook.com/Asilsfida北海道AFC-アシルスフィーダ北海道-554542847973906

AC Milan BBee千葉

e-mail: afc.bbc.98@gmail.com
Facebook:https://www.facebook.com/BumbleBee.chiba/
Twitter:https://twitter.com/milan_amputee

旧名称：AFC Bumblebee 千葉（2019年 迄）

ガネーシャ静岡AFC

e-mail: goal@amputee-shizuoka.com
HP: https://ganesa.info
Facebook:https://www.facebook.com/shizuoka.amputee.football/
Twitter:https://twitter.com/anputy_soccer

FC-ONE TOP

e-mail: ino@k-i-n.co.jp
HP: http://fconetop.main.jp
Facebook:https://www.facebook.com/FC-ONETOP-252015238671246/

競技記録

世界選手権・ワールドカップ

ワールドチャンピオンシップ 2010 アルゼンチン大会	
順位	1位 ウズベキスタン
	2位 アルゼンチン
	3位 トルコ
	15位 日本
出場	16カ国

日本代表選手　所属チーム内訳

FC ガサルス・・10名
（計10名　選出）

ワールドチャンピオンシップ 2012 ロシア大会	
順位	1位 ウズベキスタン
	2位 ロシア
	3位 トルコ
	12位 日本
出場	12カ国

日本代表選手　所属チーム内訳

FC ガサルス・・6名
FC九州バイラオール・・5名
関西Sete Estrelas・・2名
（計13名　選抜）

ワールドカップ 2014 メキシコ大会	
順位	1位 ロシア
	2位 アンゴラ
	3位 トルコ
	11位 日本
出場	24カ国

日本代表選手　所属チーム内訳

FC ALVORADA・・5名
FC九州バイラオール・・4名
関西Sete Estrelas・・2名
TSA FC・・2名
AFC Bumblebee 千葉・・1名
（計14名　派遣）

ワールドカップ 2018 メキシコ大会	
順位	1位 アンゴラ
	2位 トルコ
	3位 ブラジル
	10位 日本
出場	22カ国

日本代表選手　所属チーム内訳

FC ALVORADA・・5名
FC九州バイラオール・・5名
関西Sete Estrelas・・3名
AFC Bumblebee 千葉・・1名
ガネーシャ静岡AFC・・1名
（計15名　派遣）

日本選手権大会

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
FC ガサルス（2014年 解散）	1位	1位	5位 合同	-	-	-	-	-	-	
TSA FC	3位	3位	3位	5位 合同	4位	5位	6位 合同	5位 合同	7位	
FC九州バイラオール	2位	2位	1位	2位	1位	2位	1位	1位	1位	コロナ禍により開催中止
関西Sete Estrelas	-	4位	3位	3位	3位	3位	3位	3位	2位	
A-pfeile広島AFC	-	-	5位 合同	5位 合同	6位	6位 合同	7位	4位	6位 合同	
FC ALVORADA	-	-	2位	1位	2位	1位	2位	2位	3位	
Asilsfida北海道AFC	-	-	-	4位	5位 合同	4位 合同	5位 合同	5位 合同	6位 合同	
AC Milan BBee千葉	-	-	-	-	5位 合同	4位 合同	4位	7位	5位	
ガネーシャ静岡AFC	-	-	-	-	-	6位 合同	6位 合同	6位	4位 合同	
FC-ONE TOP	-	-	-	-	-	-	5位 合同	5位 合同	4位 合同	

レオピン杯Copa Amputee

				2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
FC ガサルス（2014年 解散）				5位 合同	-	-	-	-	-	
TSA FC				4位	3位	6位	5位 合同	4位 合同	5位 合同	
FC九州バイラオール				1位	2位	1位	3位	3位	3位	コロナ禍により開催中止
関西Sete Estrelas				2位	5位	3位	2位	2位	2位	
A-pfeile広島AFC				6位	6位	4位 合同	6位	6位 合同	4位	
FC ALVORADA				3位	1位	2位	1位	1位	1位	
Asilsfida北海道AFC				5位 合同	4位 合同	5位 合同	4位 合同	5位 合同	6位 合同	
AC Milan BBee千葉				5位 合同	4位 合同	5位 合同	4位 合同	5位 合同	6位 合同	
ガネーシャ静岡AFC				-	-	4位 合同	5位 合同	4位 合同	7位	
FC-ONE TOP				-	-	-	4位 合同	6位 合同	5位 合同	

東日本リーグ

	2018	2019	2020
TSA FC	3位 合同	3位 合同	
FC ALVORADA	1位	1位	
Asilsfida北海道AFC	-	-	開催中
AC Milan BBee千葉	4位	2位	
ガネーシャ静岡AFC	2位	4位	
FC-ONE TOP	3位 合同	3位 合同	

西日本交流戦 / 西日本リーグ

	2019	2020
FC 九州バイラオール	1位	コロナ禍により開催中止
関西Sete Estrelas	2位	
A-pfeile広島AFC	3位	

ACKNOWLEDGEMENT

日本アンプティサッカー協会が任意団体としての発足から10周年を記念して本ガイドブックは作成されました。
これからも本協会は皆様とともに歩みを進めてまいります。

日本アンプティサッカー協会
公式ハンドブック

Japan Amputee Football Association
Official Hand Book

発 行

特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会
〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館 兼松株式会社19階（本部）
http://www.j-afa.jp

編 集

特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会 強化委員会
Mail: kyoka@j-afa.jp

編 集 協 力

特定非営利活動法人 日本アンプティサッカー協会
事務局
－ 総務
－ 事業
－ 広報
－ 国際渉外
西日本支部

印 刷

株式会社 大和
〒210-0858 川崎市川崎区大川町11-6
http://www.daiwano1.co.jp/index.html

● 本紙掲載のレポート、写真、図などの無断転載を禁じます

● 写真提供：永伸商事株式会社
● 発行日：2020年12月

※ 掲載しているデータは2020年現在のものです

WE’RE NOT PRO PLAYERS
WE PLAY FOR FUN
COACHES REFEREES AND STAFFS
ARE VOLUNTEERS
WE’RE ALL
DOING OUR BEST
COME AND JOIN US
YOU WOULD BE EXCITED